

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-141	23-081	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
題名 (原題/訳)		
Low rates of prescribing alcohol relapse prevention medicines in Australian Aboriginal Community Controlled Health Services オーストラリア先住民のコミュニティ管理医療サービスでは、アルコール依存症再発防止薬の処方率が低い		
執筆者		
Purcell-Khodr G, Conigrave JH, Lee KSK, Vnuk J, Conigrave KM.		
掲載誌		
Drug Alcohol Rev. 2023 Nov;42(7):1606-1616. doi: 10.1111/dar.13708.		
キーワード	PMID	
先住民コミュニティ管理医療サービス、アルコール依存、アルコール使用障害、プライマリケア、再発予防薬	37422892	
要 旨		
<p>目的: オーストラリア先住民に対するコミュニティ管理医療サービス (ACCHS)におけるアルコール依存症再発予防薬の処方率および関連要因を検討した。</p> <p>方法: 22 の ACCHS が参加したクラスターランダム化比較試験のベースラインデータ (12 か月間) を用い検討した。アルコール依存症再発予防薬 (ナルトレキソン、アカンプロサート、ジスルフィラム) の処方データより処方率を算出するとともに、ロジスティック回帰分析を用い、AUDIT-C スコア、性、年齢等の因子による処方オッズ比を算出した。</p> <p>結果: 12 か月の対象期間中、52678 人が 22 の ACCHS を利用し、このうちアルコール依存症再発防止薬を処方されたのは 118 人 (0.2%)であった。多変量解析の結果、男性、中年、都市部勤務者あるいは AUDIT-C スコアが高いほど再発防止薬処方オッズ比が高かった。</p> <p>結論: アルコール依存症患者に対する再発防止薬の処方を増やすための取り組みが必要と考えられる。また、処方に対する潜在的な障壁を特定し、克服する適切な方法を検討する必要がある。</p>		